

# 日本一車が多い街の公共交通施策

～ 公共交通はまちづくりのプラットフォーム ～



# 茨城県筑西市

人口: およそ10万2千人

面積: 約200km<sup>2</sup>

可住地面積: 約197km<sup>2</sup>

一世帯当たりの自動車保有台数  
1.886台(全国市町村別第1位)



衣·食·住·交。 交=交通？

交≠交通

交=交流

# 公共交通は手段にすぎない...

「バスがあれば地域は便利になる」は間違い。

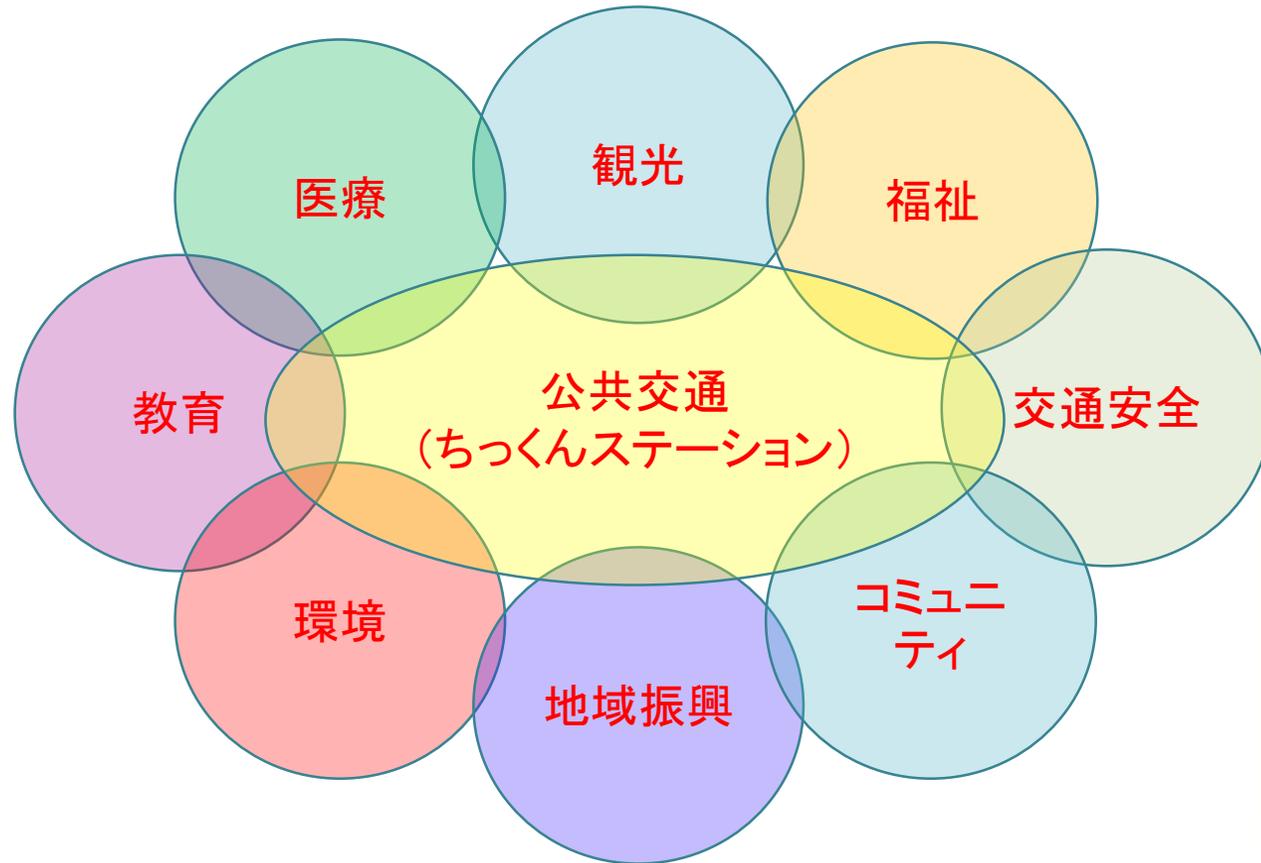
人が移動するのは、移動する**目的がある**から。

目的地にある「**交流**」の機会をどのようにとらえていくか。

# 公共交通のクロスセクター効果

公共交通は多くの要素にリンクするため、公共交通をハブとすることで様々な事業について相乗効果が期待できる。

公共交通施策とはまちづくりの要素をつなぐプラットフォームの役割を持つ。



クロスセクター効果とは  
「ある部門でとられた行動が、  
他部門に利益をもたらす効果を持つ」  
という考え方。

# 全庁的な取り組みとして

・クロスセクター効果を踏まえ、市役所全体でMMの必要性を認識し、それぞれの部署で関連づけられるイベントや施策についての協力体制を構築していく。



H30.7.6 各部局次長級職員向け説明会の様子

# 交流の機会を増やす⇒持続可能な公共交通網

クロスセクター効果を最大限に引き出すために、多くのメニューを提示する必要がある。

## 衣・食・住・交

公共交通施策の本質は目的地における**交流機会の充実**にある。



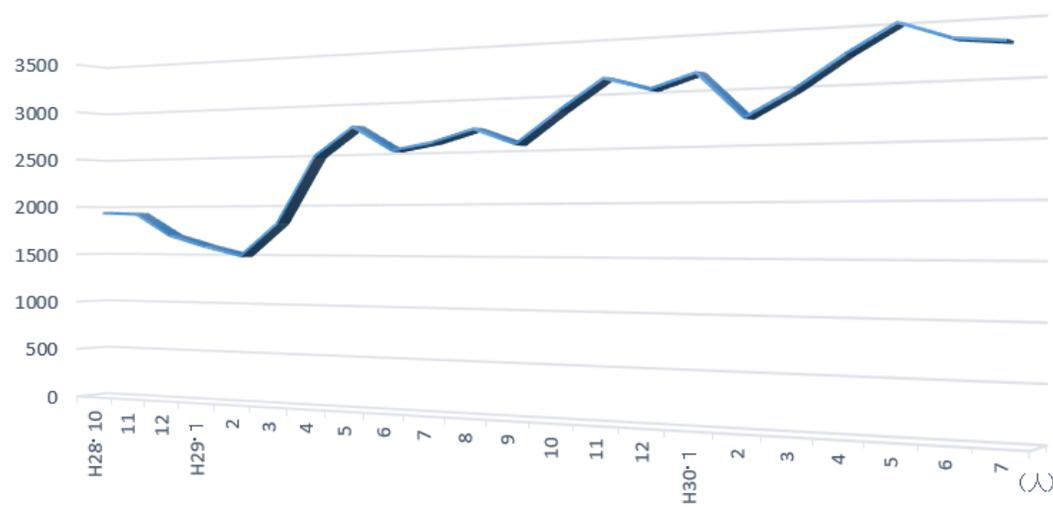
# 交通施策のシンボルとして

- ・交通施策に関するアンケート常設
- ・視察の受け入れ
- ・隣接自治体との連携協議の場
- ・市民とのワークショップ ほか



# ニーズをとらえるために

筑西市広域連携バス利用者数推移(H28.10～H30.7)



地域内運行バス乗車人数推移(人)

